《令和4年度　会計課　組織目標の達成状況》

◆目標管理者

会計管理者　福西　弘充

主　令和4年度当初予算概要「主な事業の概要」に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識
（重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など）

1

・長引く新型コロナウイルス感染症の影響による各種施策における収支計画に注視しながら、資金計画の安定的な運用に務める必要があります。

・長期化する低金利政策の影響により、各種預金等における金利が低く、運用益を上げることが非常に困難な状況にあります。また、新たな預金を受け入れない金融機関があるなど、金融情勢を取り巻く環境も変化しているため、諸情勢を見極めながら資金運用を行う必要があります。

2. 重点目標

①

新型コロナウイルス感染症等による社会経済情勢の変化に対する資金運用を的確に行うとともに、今後の景気や金融政策の動向にも注視しつつ、低金利の状況下においても安全かつ確実に、有利な方法での資金運用に努めます。

3. 目標達成のための取組と成果目標

①

【取組】
社会経済情勢を注視しながら、適切で確実な資金運用を行うとともに、預金等にて運用可能な資金の把握を行い、利息収入が得られるような資金運用に努めます。

【成果目標】
安全かつ確実で有利な方法にて、利息収入が得られるよう資金運用を行います。

4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組
【年度末実績】

①

【取組実績】
資金運用が可能な一般基金および歳計現金について利息収入を得るため、金融機関への定期預金等への預入を行いました。
また、これまで預入を受け入れてもらえなかった金融機関と交渉のうえ預入を受け入れてもらうことができました。

【成果目標実績】
金融機関の安全性を確認のうえ、金融機関との頻回な交渉を行い、預入時点において最も金利の有利な定期預金等への預入を行いました。その結果、前年度を上回る利息収入を得ることができました。